

ソニックデザイン 新製品報道資料 2014年3月12日

## トヨタ 新型ハリアー、新型ノア/ヴォクシー専用スピーカーパッケージ、 およびトヨタ マークX 専用ハイグレードスピーカーパッケージを新発売 ～高音質志向の車種別専用スピーカーパッケージ「SonicPLUS」をさらに拡充～

株式会社ソニックデザイン(千葉県千葉市中央区南町2-6-18、社長:佐藤敬守)はこのたび、簡単・確実な交換装着によって純正カーオーディオシステムの高音質化を手軽に実現する車種別専用スピーカーパッケージ「SonicPLUS」(ソニックプラス)の新製品として、下記のトヨタ車専用モデル計4機種を2014年3月20日より全国のソニックデザイン製品認定販売店、ならびにトヨタ販売店の一部で発売いたします。

### ソニックデザイン「SonicPLUS」(ソニックプラス)

トヨタ車専用モデル 計4機種

#### スピーカーパッケージ「SP-H60M」

トヨタ ハリアー(60系)<sup>\*1</sup>専用ハイグレードモデル フロント専用<sup>\*2</sup>

推奨取付時間 2H

#### スピーカーパッケージ「SP-H60E」

トヨタ ハリアー(60系)<sup>\*1</sup>専用スタンダードモデル フロント専用<sup>\*2</sup>

推奨取付時間 2H

#### スピーカーパッケージ「SP-N80E」

トヨタ ノア/ヴォクシー(80系)<sup>\*3</sup>専用スタンダードモデル フロント専用<sup>\*2</sup>

推奨取付時間 1H

#### スピーカーパッケージ「SP-X13M」

トヨタ マークX(130系)<sup>\*4</sup>専用ハイグレードモデル フロント専用<sup>\*5</sup>

推奨取付時間 2H

\*1:純正「JBL プレミアムサウンドシステム」装着車には取り付けできません。

\*2:リアスピーカーの設定はありません。純正リアスピーカーと組み合わせる場合はオーディオデッキのフェーダーでリアスピーカーの音量を小さく絞ってお使いください。

\*3:純正「ノア・パノラミックライブサウンドシステム」「ヴォクシー・パノラミックライブサウンドシステム」装着車には取り付けできません。ノア/ヴォクシー用にハイグレードモデルの設定はありません。

\*4:マークX用にはスタンダードモデル「SP-X13E」(既発売)も設定しています。

\*5:リアスピーカーには「SP-P30RM」(既発売)をお使いいただけます。

【ご注意】記載の希望小売価格はすべて税抜表示です。2014年4月1日より実施される消費税率の引上げに伴い、同日以降はお預かりする消費税額が8%となります。

### 「SonicPLUS」トヨタ車専用モデル（2014年3月新製品）概要

「SonicPLUS」トヨタ車専用モデルは、車両の資産価値や操作性を犠牲にすることなくカーオーディオの音質を改善したいとお考えのトヨタ車オーナーを対象に企画・開発<sup>\*1</sup>した車種別専用スピーカーパッケージです。本製品はボルトオン&カプラーオンで簡単・確実に装着できることを目指して設計されており、カーオーディオの音質をもっと大きく左右するフロントスピーカーのみの交換で、純正装着のデッキやリアスピーカーなどを活かしながら音のグレードアップを図ることが可能<sup>\*2</sup>。新型ハリアー用はハイグレードモデルとスタンダードモデルの2グレード展開、また新型ノア/ヴォクシー用はスタンダードモデルのみの1グレード展開としています。

さらに今回、既発売のマークX（130系）専用スピーカーパッケージに、より高品位な音質を追求したハイグレードモデルの「SP-X13M」を追加しました。この「SP-X13M」には既発売のリアスピーカー「SP-P30RM」（ハイグレードモデル）が適合し、フロントとリアをセットで交換していただくことで、従来のカーオーディオの宿命であった車外への音漏れや内装材などの共振による音質劣化も大幅に抑制できます。加えて、将来お乗り換えの際には「SonicPLUS」を純正スピーカーに戻したり、別の同系車種への載せ替え<sup>\*3</sup>も可能。車両の価値を損なわないよう配慮しました。

なお、「SonicPLUS」トヨタ車専用モデルは弊社製品認定販売店のほか、該当車種を販売するトヨタ販売店の一部でも<sup>\*4</sup>でも取り扱いいます。

\*1：「SonicPLUS」トヨタ車専用モデルは弊社が独自に企画・開発する商品です。

\*2：弊社製品認定販売店（カーオーディオ専門店）では、「SonicPLUS」の高音質をさらに引き立てる多彩なグレードアッププランも用意しております。詳しくはお近くの弊社製品認定販売店、または弊社へお訊ねください。

\*3：取り外しや再装着を販売店に依頼される際には別途脱着工賃が発生します。

\*4：最新の取り扱い店舗につきましては弊社へ直接お問い合わせいただくか、ソニックデザイン ホームページにてご確認ください。最寄りのトヨタ販売店が取り扱い店舗でない場合は、弊社または各販売店へご相談いただければ便宜を図らせていただきます。

### 「SonicPLUS」トヨタ車専用モデル(2014年3月新製品)製品仕様

#### 「SP-H60M」 60系ハリアー専用ハイグレードモデル(2013年/平成25年～)

- ・セパレート2ウェイ構成(クロスオーバーネットワーク付属)、フロント専用
- ・CMFコーンウーファー、専用ネットワークなどによるハイグレード設計
- ・アルミハイブリッドエンクロージャー一体型ウーファーモジュール
- ・18mm口径マイクロファイバー・ドームトゥイーター
- ・リアスピーカー非設定(純正リアスピーカーとの組み合わせは可能)

●純正「JBLプレミアムサウンドシステム」装着車には取り付けできません。

●「SonicPLUS」を純正リアスピーカーと併用するとリア側の音量が大きくなります。

前後の音量バランスをフェーダーで調整してお使いください。

#### 「SP-H60E」 60系ハリアー専用スタンダードモデル(2013年/平成25年～)

- ・セパレート2ウェイ構成(クロスオーバーネットワーク付属)、フロント専用
- ・アルミハイブリッドエンクロージャー一体型ウーファーモジュール
- ・18mm口径マイクロファイバー・ドームトゥイーター
- ・リアスピーカー非設定(純正リアスピーカーとの組み合わせは可能)

●純正「JBLプレミアムサウンドシステム」装着車には取り付けできません。

●「SonicPLUS」を純正リアスピーカーと併用するとリア側の音量が大きくなります。

前後の音量バランスをフェーダーで調整してお使いください。

#### 「SP-N80E」 80系ノア/ヴォクシー専用スタンダードモデル(2014年/平成26年～)

- ・フルレンジ構成、フロント専用
- ・アルミハイブリッドエンクロージャー一体型フルレンジモジュール
- ・リアスピーカー非設定(純正リアスピーカーとの併用は可能)

●純正「ノア・パノラミックライブサウンドシステム」「ヴォクシー・パノラミックライブサウンドシステム」装着車には取り付けできません。

●「SonicPLUS」を純正リアスピーカーと併用するとリア側の音量が大きくなります。

前後の音量バランスをフェーダーで調整してお使いください。

#### 「SP-X13M」 130系マークX専用ハイグレードモデル(2009年/平成21年～)

- ・セパレート2ウェイ構成(クロスオーバーネットワーク付属)、フロント専用
- ・CMFコーンウーファー、専用ネットワークなどによるハイグレード設計
- ・アルミハイブリッドエンクロージャー一体型ウーファーモジュール
- ・18mm口径マイクロファイバー・ドームトゥイーター
- ・リアスピーカー「SP-P30RM」との組み合わせに対応

●純正「スーパーライブサウンドシステム」装着車には取り付けできません。

●「SonicPLUS」を純正リアスピーカーと併用するとリア側の音量が大きくなります。

前後の音量バランスをフェーダーで調整してお使いください。

### 「SP-H60M」「SP-X13M」(ハイグレードモデル) 主な特徴

#### 1. 簡単・確実な取り付けで車両の価値も損なわない車種別専用設計

車両の価値を損なうことなく簡単・確実に装着できる\*車種別専用設計。将来お乗り換えの際の現状復帰(別途工賃が発生します)も容易に行えます。

\*「SonicPLUS」は、取り付け作業を販売店にご依頼いただくことを前提に開発された製品です。弊社では、お客様ご自身による車両の分解やオーディオ取り付け作業などを推奨しておりません。また、「SonicPLUS」にはお客様向けの取付説明書類を付属しておりませんのでご了承ください。

#### 2. カーオーディオ愛好家から高く評価される、CMF(クロスマイクロファイバー)振動板採用のハイグレード仕様 77mm ウーファーユニット

しなやかさと剛性のベストバランスを追求したマイクロファイバー編み込み樹脂振動板=CMF(クロスマイクロファイバー)コーンとナローギャップ・モーターシステムを採用したハイグレード仕様の77mmウーファーユニット「SD-N77M」型を搭載。音楽の素顔を映し出す緻密な表現力と情報量の豊かさは、音にこだわるカーオーディオ愛好家の皆様からも高く評価されています。

#### 3. ウーファーとの音色統一を徹底させたマイクロファイバー振動板を採用。スムーズな高域再生の高性能ドームトゥイーター

独自のマイクロファイバー製振動板によってウーファーと音色を統一した高性能ドームトゥイーターを採用。ナローギャップ・モーターシステムによる強力磁気回路とも相まって、より上質な高域再生を実現しました。

#### 4. カーオーディオ再生の理想、ドア内エンクロージャを手軽に実現する高剛性・低共振設計のアルミハイブリッドエンクロージャ

「プレミアムライン」シリーズと同等の超精密鋳造アルミダイキャスト製バッフルと、特殊樹脂製バックチャンバー(裏ケース)とを強固に結合した異種素材2ピース構造を採用。クリアな音を実現するとともに、車外への音漏れも少なくなります\*。

\*純正リアスピーカーと併用する場合、そこからの音漏れを抑制することはできません。

#### 5. ハイパス/ローパス独立式のハイグレード仕様ネットワーク

試聴で厳選した高音質パーツを投入した専用設計のハイグレード仕様クロスオーバーネットワークを付属。回路基板を制振効果の高い樹脂チューブで小さく固めることで走行中の振動の影響や湿気などによる劣化を排除し、ドア内への設置作業を容易にするハンドメイド品としています。

### 「SP-H60E」「SP-N80E」(スタンダードモデル) 主な特徴

#### 1. 簡単・確実な取り付けで車両の価値も損なわない車種別専用設計

付属の専用バッフルと配線カプラーを使ってボルトオン&カプラーオンで取り付けられる\*車種別専用設計。車両の価値を損なうことなく簡単・確実に装着でき、将来お乗り換えの際の現状復帰(別途工賃が発生します)も容易に行えます。

\*「SonicPLUS」は、取り付け作業を販売店にご依頼いただくことを前提に開発された製品です。弊社では、お客様ご自身による車両の分解やオーディオ取り付け作業などを推奨しておりません。また、「SonicPLUS」にはお客様向けの取付説明書類を付属しておりませんのでご了承ください。

#### 2. さらなる動作精度の追求により、色付けのないクリアなサウンドを再現。

##### ナローギャップ・モーターシステム搭載 77mm スピーカーユニット

音の響きと広がりを最適化するノンコート・ファイントリートメントや軽量高剛性のガラス繊維編み込み式センターキャップなどの新技術を投入したマイクロファイバー混成樹脂振動板=DMF(ディファインド・マイクロファイバー)コーン、駆動系の動作精度を向上させて磁気回路の高効率化を図ったナローギャップモーターシステムを採用。小口径ならではの音の切れ味と、小口径の限界を打ち破るワイドレンジ再生とを両立し、あらゆる色付けや誇張感を廃したクリアで自然なサウンドを再現します。

#### 3. カーオーディオ再生の理想、ドア内エンクロージャを手軽に実現する

##### 高剛性・低共振設計のアルミハイブリッドエンクロージャ

「プレミアムライン」シリーズと同等の超精密鋳造アルミダイキャスト製バッフルと、特殊樹脂製バックチャンバー(裏ケース)とを強固に結合した異種素材2ピース構造で不要共振を徹底的に抑制。カーオーディオ再生の理想とされるドア内エンクロージャ構造でクリアな音を実現するとともに、車外への音漏れも少なくなります\*。

\*純正リアスピーカーからの音漏れを抑制することはできません。

#### 4. ウーファーとの音色統一を徹底させたマイクロファイバー振動板を採用。

##### スムーズな高域再生の高性能ドームトゥイーター (SP-H60E)

ウーファーと音色を統一した高性能ドームトゥイーターを採用。ナローギャップ・モーターシステムによる強力磁気回路とも相まって、より上質な高域再生を実現しました。

#### 5. ハイパス / ローパス独立式の高性能ネットワーク (SP-H60E)

ハイパス / ローパス独立式の専用クロスオーバーネットワークを付属。新型ハリアーの車室内音響特性を考慮しながら、スムーズな音のつながりを追求しました。

### 「SonicPLUS」トヨタ車専用モデル (2014年3月新製品) 画像

(代表的なモデルを紹介しています)



ソニックデザイン スピーカーパッケージ「SP-H60M」 フロント専用  
(60系ハリアー専用ハイグレードモデル、ネットワーク付属)



ソニックデザイン スピーカーパッケージ「SP-N80E」 フロント専用  
(80系ノア/ヴォクシー専用スタンダードモデル)



ソニックデザイン スピーカーパッケージ「SP-X13M」 フロント専用  
(130系マークX用ハイグレードモデル、ネットワーク付属)

\*画像はプロトタイプです。仕様や外観などの一部が実際と多少異なることがあります。

本件についてのお問い合わせ先

株式会社ソニックデザイン:

電話 043-209-1777、eメール [info@sonic-design.co.jp](mailto:info@sonic-design.co.jp)

以上